



事業者向け

令和3年度 自己評価

children fitness
noone(ノーネ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			国の設備基準である定員10名、児童1人当たり約3㎡以上のところ、ノーネでは指導訓練室、運動部屋合わせて125㎡と、国の基準の4倍以上の設備となっております。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			「児童10人に対して2人以上の指導員」という国の配置基準以上の人員配置を常に行い保育士、臨床心理士、など児童分野での経験と専門性を備えた職員を配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			施設内は段差がないようにしております。また、すべての窓ガラスには飛散防止フィルムを張っており、扉には指はさみ防止カバーつけております。 また、児童の出入りが多い指導訓練室の扉にはドアクローザーを取り付け、ゆっくりしまるようになっております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%		PDCAサイクルを心掛け、朝礼や終業前に全体で振り返りを行い、職員が共通の認識を持って支援を行えるように取り組んでおります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			児童発達支援・放課後等デイサービス利用者の保護者向け評価表による評価と公表し、意向を把握、改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			noone(ノーネ)のホームページにて公表いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%		他事業所とのケース会議を定期的に行っており支援の幅を広げるよう取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	70%	30%		感染症の影響もあり研修等オンラインでの開催が多くなっているためオンラインでの参加を積極的に行っている。 日程や勤務体制を調整し、日常の支援に支障をきたさないよう、職員全員が様々な研修に参加できるようにしています。来年度もより多くの研修に参加し、支援の向上を図っていきたいと思います。 又、一定期間の経験のある職員に対しては資格取得のための研修斡旋も行なっています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・利用に際しての見学・体験・契約時に保護者面談を行いニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また利用後も児童発達支援管理者による保護者面談を行い子ども達の日々変わる発達状況を把握し、支援に活かせるようにしております。 ・相談支援事業所の相談員との定期的な連絡を取り支援計画や支援の現場に活かしております。 ・外部でとった発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・面談の際にインタビューシートを用い、子どもの発達状況、適応状況を正確に把握し、個別支援計画作成に活かしております。また、医療機関等による発達検査や知能検査の結果を保護者に提供して頂いております。今後も記録の取り方やツールなど仕組み作りを更新していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			児童発達支援管理者、管理者を中心に他の保育士、指導員を交え、活動プログラムの立案を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%		エクササイズ、ヨガは現在曜日固定で行っておりますが、同じ内容になることはなく、続けていくことで子どもたちの成長が見られます。また、季節に合ったイベントや行事を用意し、子どもたちが楽しみながら季節を感じ、様々なことを経験し成長できるよう活動を用意しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90%	10%		運動などの体を使った活動だけではなく、机に向かって一つの物事に集中して取り組む時間を用意するなど、児童一人一人に合った支援をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	100%			児童一人一人の発達状況に応じて個別支援計画を用意し、それに沿った支援を行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			支援開始前にミーティングを行い、利用児童の確認、送迎、一日の流れや活動プログラムの確認、支援方法の確認を行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			支援終了後も30分ほど支援の振り返りや反省点、今後の支援について話し合う時間を設けております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			その日の活動や状況を業務日誌に毎回記録しております。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			実績記録表に支援目標を掲載しているので利用の度に職員と保護者様とで目を通すことが出来、見直しの必要性も判断しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	80%	20%		児童発達支援、放課後等デイサービスのガイドラインを職員間により周知していき、組み合わせ、工夫しより良い支援をしていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			基本的に児童発達支援管理者が参加し、状況に応じて管理者や保育士・児童指導員も参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			保護者、学校と話し合い、送迎時の注意点や時間の確認を行っております。又、事業所側から関係機関との担当者会議などの開催を相談支援事業所を含め関係機関に打診しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				※無該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			必要に応じ担当者会議の実施や相談支援員との情報共有などを通じ相互理解に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%		発達状況や年齢などに応じて福祉サービスの変更や複数のサービスを併用することになった場合、情報提供や必要に応じて対応を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	60%		保護者、関係機関、相談支援事業所と話しあい、北部地域療育センターや太陽の園と連携し、助言や日々の支援に活かしております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30%	60%	10%	感染症の影響もあり交流等ができていない状況ではあるが参加ができるような環境になった際には積極的に参加していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	70%	20%	10%	熊谷市の協議会で開催されるオンライン研修会の参加をしています。年ごとに事業所多くのスタッフが参加できるように体制を作っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			日々のやり取りとして、送迎時や、電話、LINE、提供記録等を通じて理解の共有を図っています。また、モニタリング以外においても状況に応じて面談の時間を設定し、やり取りを行っている。保護者との連絡や話し合いは常に意識して共通理解を図ってまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	20%	20%	感染症の影響により開催等難しくなっているが再開された暁には積極的に参加していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時になるべく丁寧に説明することを心掛けております。また、ご不明な点があった場合は随時職員が説明するようにしております。 ※今年度重要事項説明書を更新しより細かな単位をお伝えできるようにしました。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			電話や面談のやり取りの中で、保護者の悩みの理解に努め、支援中の児童の様子から窺える理解やそれに基づいた助言を行えるよう支援していけるよう努めます。児童やご家庭で少しでも変化があった場合は事業所から積極的にご家庭と共有出来るよう日々意識している。

32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	30%	30%	今年度は感染症の影響で保護者会が実施できませんが、今後実施していきます。 また、保護者参加できるイベントを実施していき、保護者同士の連携を支援していけるよう努めます。
----	---	-----	-----	-----	--

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情受付担当受付者(児童発達支援管理責任者)と苦情解決責任者(管理者)を設定しております。苦情が発生した時には、スタッフ間において原因と改善策を考え、迅速に対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			LINEを通じイベント情報や支援の様子など伝えさせていただいております。今後、おたより、会報など発信する機会を増やしていきたいと思っております。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報は鍵付きの書庫にて管理しております。また、契約時に取り交せていただいた個人情報の取扱いについて細心の注意を払って管理しております。また、SNS等で事業所の情報配信を行なっているが細心の注意を行った上で行なっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			保護者様との連絡手段はなるべく保護者さまの負担とならないように配慮し、児童には発達段階、発達状況にあった意思の疎通の工夫をしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	40%	10%	地域の方に向けたお祭りや発表会のような行事は設けておりませんが、事業所として、立正大学の学生のボランティアさんを受け入れたり、地域のイベント事の参加をしております。また、支援学校や支援学級を目指している学生のアルバイトやボランティアの受け入れを積極的に行なっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行っております。マニュアルについても必要に応じて見直ししていきます。 ※現在BCP計画の作成を行なっております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			児童も参加の上、年に2回以上の総合訓練(通報訓練、避難訓練、消火訓練)を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		障がい者虐待防止研修の参加や虐待防止に関する責任者(児童発達支援管理者)を選定し、施設内研修を行い、施設外研修に参加しています。来年度からは法人内で虐待防止委員会を設置し定期的な会議を行なっていきます。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	70%	30%		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしています。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。「必要に応じて身体拘束に関する同意書」を保護者へ説明し同意を頂いております。	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%		<p>日々のおやつ提供やイベントの際の食事の提供があり、アレルギーについて保護者と綿密に話し合い、情報を職員間で共有し、細心の注意を払って対応しております。児童の症状によっては保護者様におやつを用意して頂くなどの対応をとっております。</p>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90%	10%		<p>危険な事例があった場合、ヒヤリハット・事故報告書に記載し、ミーティングを通して職員間で共有しています。</p>